

平成24年度 伊奈学園同窓会

第1回 理事会

平成24年7月8日（日）10:00～
（場所＝JACK 大宮・宇宙劇場5階会議室）

議 事

- ①2011年度事業報告・2012年度事業（活動）予定について
- ②2011年度決算（案）について
- ③2012年度予算（案）について
- ④創立30周年記念事業について
- ⑤年次活動補助金制度の見直しについて
- ⑥会議費について
- ⑦人事案について
- ⑧その他

（上記にない議事の場合は、ここで審議）

会報誌制作状況報告

2012年7月8日年次理事会用資料

会報誌制作委員長 早坂

昨年度は Inajin32号（2011年夏号）、Inajin33号（2012年春号）を収めました。
制作費は11年度予算内に収めました。

32号では、広告掲載に伴うHPのアップ等で明確な期限を設けていないことをご迷惑をおかけする事態が生じたので、今年度は期間を設けて遵守し、そのようなことがないように改善します。

今年度より Inajin の発行は年一回とし、配布対象も卒業後10年ではなく、全卒業生向けに変更いたします。（約20000部）

上記のとおり、Inajin を全卒業生に配布することにより、これまでの定期購読制度を廃止し、既存の定期購読者に対しては、返金またはご寄附いただきたい旨、連絡します。

制作スタッフの充実化に対しては、解決が見えていませんが発行回数の削減や、スタッフ、協力会社の補てんを踏まえた予算組を試みて、定期的・安定的に Inajin が発行できる体制をつくりたいと考えております。

来年度からはページ数のアップを図り、寄付の単価を下げた上で広告スペースを増やして Inajin としてある程度独立採算が取れるようにしたいと考えております。

以 上

伊奈学園同窓会ホームページ更新実績 2012/02~2012/06

更新日	更新内容
2012/02/11	常任理事会開催報告
2012/02/11	いなじん たまりBar開催報告
2012/02/11	OBからリビア支援物資のお願い
2012/02/11	常任理事会が開かれました（同窓会ブログ）
2012/02/26	リビア支援物資のご報告
2012/02/26	理事会と懇親会が開かれました（同窓会ブログ）
2012/03/01	Inajin製作スタッフ募集中！！
2012/03/04	理事会開催報告
2012/03/16	同窓会入会式に行ってきました（同窓会ブログ）
2012/03/16	第26回卒業式と祝賀会（同窓会ブログ）
2012/03/20	「2012年第2回いなじんたまりBar」開催決定！！
2012/04/22	同窓会会報誌 Inajin vol.33掲載
2012/04/29	11期生同窓会開催報告
2012/06/05	「2012年第2回いなじんたまりBar」開催報告
2012/06/24	いなじんたまりbarに参加してきました（同窓会ブログ）
2012/06/24	常任理事会が開かれました（同窓会ブログ）
2012/06/24	常任理事会開催報告
2012/06/24	理事会開催のお知らせ

システム関連作業計画

・現在、同窓会内の作業がシステム化されておらず、手作業が多い。作業が人依存にならないようにするためにもシステム化を進める。
特にイベント参加者の情報が村松さんが管理している同窓会名簿に結びついていないので、取り急ぎ開催済みイベント参加者の情報を集約して同窓会名簿へ反映させる。

第3回先輩と夢を語ろう報告書

平成24年 7月 8日先輩と夢を語ろう担当 石川

1・概要

平成23年11月5日(土) PM1:30~5:00伊奈学園総合高等学校において「第3回先輩と夢を語ろう」を開催しました。

本年度も教育の一環として学校全体の行事として行い運営に関してはPTA・後援会の皆様のご協力もいただきました。

2・当日までの動き

6月から講師候補者の募集を開始(HP及びミクシィ)8月にはおおよそ40名の仮登録者を集めました。9月にエントリーシート(講師プロフィール)を希望者に提出していただきました。10月末各々の人数及びプロジェクター使用の有無などから教室を割り振りしていただきました。

3・当日

学校開放日の5限目を利用して開催しました。主に1年次生が対象で2・3年次生は希望者のみ、放課後予定した各分野に分かれての座談会は残念ながら中止となりました。

最終的に講座は35講座

受付他スタッフとして石川他2名同窓会から参加しました。

終了後県民活動センター内馬車道にて懇親会を行いました。

尚講師には交通費として後援会様から5000円出していただきました。

(懇親会収支報告)

支払額 92840円

講師の方からの参加費 $1000 \times 28 \text{名} = 31000 \text{円}$

同窓会補助分65000円 (11月17日清算済み)

4・アンケート回収

学校側で生徒さんのアンケートをまとめていただきました。それを希望者の方に手渡しまたは郵送にて送らせていただきました。

5・まとめ

今年は昨年の反省を踏まえ大体育館での講演方式をなくし、1回と2回の良い点を取り入れた講義+座談会方式としましたが残念ながら座談会方式は流れてしまいました。

これはとても残念でした。

しかしながら講座方式に絞ったことによりかなり落ち着いて聞いていただけたと思います。

今回石川はスタッフとして全体の講義を少しずつ見させていただきましたが

どの講師の方もそれぞれにいい雰囲気でお話をできたようです。

また2回目、3回目の講師の方も多くいろいろに工夫しており今度は卒業生対象でこういった催しものを行ってもいいのではと思ったほどでした。

当日またその後の寄せられた感想として

反応がうまく感じ取れずに苦勞したという意見が多かったのですがその後アンケートを読んで感想を聞いたところによると思っていたよりしっかりと受け止めている、やってよかったとの意見が多かったです。

私も学校から届いたアンケートに目を通しましたがそれぞれの生徒さんが勉強する意味や人生に対する考え方を何かしら感じてくれたようでうれしかったです。

また今年は学校側とも2年目ということもありだいぶ意思の疎通ができたと思います。

また開催後アンケートを引き取りに伺う際来年度のお話をしてきました。そこでは今回のこういった方式が今後もいいのではないかとまた土曜日に時間を取って行うことになると授業の時間もとられてしまうので平日の時間帯でも可能かどうか？ということをお話し合ってきました。

先生方の中にもいろいろと意見があるようです。来年以降の方針などに注意がいるかもしれません。

第4回伊奈学園同窓会ホームカミングパーティー報告書

2012年 7月 8日 HCP担当石川

①開催概要

昨年に引き続き同窓会主催同窓会「ホームカミングパーティー（以下HCP）」を2011年9月24日（土）午後5時から8時にかけて大宮駅西口東天紅 JACK 大宮店で開催しました。参加者は10期生5名、11期生3名、12期生4名で計12名でした。

またInajinたまりbarのプレイベントも兼ねて他の年次の方から主に年次理事さんを中心に参加いただきました。最終的に合計22名の参加でした

②開催まで

6月活動開始。スタッフの募集をHP及びミクシィで開始

6月お店決定。参加者募集開始

7月～9月思うように参加者が集まらず早坂さん企画のInajinたまりbarとの合同開催に変更。

③当日

当日は円卓着席方式飲み放題付で開催しました。料金は5500円。当日集金額は補助金分を引いてHCP対象年次の方は5000円、Inajinたまりbarの参加者は5500円としました。

今回は人数も少なく部屋も小さくしたことから余興などはなし簡単な各自の自己紹介と席替えをしての新しい人との会話を楽しんでいただきました。

④会計報告

別紙収支報告書にて

⑤開催后感想

最終的に早坂さんはじめ皆さんに参加いただき無事開催することができました。ありがとうございました。当日は和やかで楽しい雰囲気だったと思います。人数が少なかった分一人一人とかなりじっくり話すことができそれぞれでよかったのではと思います。

しかし、残念ながら人数が思うように集まらなかったのは大きな失敗でした。

これは来年以降の開催にむけていろいろと改善すべき点だと思います。

1・募集方法の確立。今年度は主に HP、ミクシィを利用のうえ、ぎりぎりになってしまいました。はがきも郵送しました。ただ時期的にちょっと遅くなってしまい効果はあまりなかったように思います。もし来年以降も可能ならばはがきを早く送ることができたらと思います。

また、今回は震災による影響もあって出足が遅れてしまったことと、当該年次のスタッフ予定者が相次いで辞退してしまったことも痛手でした。

今年度はより速い動きだすと、キーマンの選定が重要になると思います。

2・開催日時の選定今回は3連休の中日と設定が難しい日を選んでしまいそれも人数集めに苦労した原因の一つと思われます。次年度は日時の設定も考えたいと思います。

第4回「先輩と夢を語ろう」について

開催予定日時 平成24年11月13日（火） PM3：40～

内容 昨年までの授業方式及び1年生全員参加方式を取りやめ

1～3年生の希望者を募って同じような分野の講師数名と座談会方式で行う。
形式としては第1回目と似た形で行いたいとのこと。

また先日学校からできればこんな分野の講師に来ていただきたい
と連絡いただきましたのでその方たちにはこちらから参加をお願いしたいと
思っています。

これから予定

7月～募集開始

8月中に講師とりまとめ

9月分野分け及び学校と協議・エントリーシートの作成

10月中に生徒募集受付

11月開催

開催に向けて

1人当たりA4一枚ぐらいの紹介を作成したい。

尚出来れば写真などのカラー化、ネット環境も使いたい

生徒には校内のあちこちに掲示をしてもらったものを見てもらい

参加率をあげていきたいと学校側と打ち合わせ中

時間も短く、講師も当日顔合わせになってしまうと思うので

前もっての質問の受付、講師同士の紹介も進めたい。

「2012年第2回いなじんたまりBar」開催報告

2012年7月8日年次理事会用資料
異業種交流会推進委員長 畠山

2012年度より委員会も立上げ、同窓会の公式事業となりました。

去る5月26日に「2012年第2回いなじんたまりBar」が大宮の
"俺の台所 大宮店"にて開催されました。

参加したのは1期生～23期生までの総勢44名の方々です。

とても賑やかな雰囲気で盛り上がりました。

世代が違っていても伊奈学卒業生というのは不思議なもので「何期生？」
「何ハウス？」「学科は何系？」というキーワードで始まる会話がきっかけで、初対面でも打ち解けることができますね。

二次会も行われ半数以上の方々が起こし下さり、楽しい懇談が続きました。
とても楽しいひと時でした。

第3回開催日は未定です。

収支計算書

自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月31日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会

(単位:円)

科目	予算額	流用額	決算額	備考
I 収入の部				
1. 会費・入会金収入	3,975,000		3,993,820	卒業生入会金
2. その他収入	150,000		218,899	寄付金等
3. 会報誌継続購読料引当預金繰入	68,500		68,500	
4. 会報誌継続購読料新規収入	60,000		60,000	6,000円×10人
当期収入合計(A)	4,253,500	0	4,341,219	
II 支出の部				
1. 運営費				
会 議 費	120,000	11,787	131,787	会場費、飲食費、案内送付費、
庶 務 費	120,000		68,592	決算書作成費、業務補佐謝礼他
名簿維持管理費	30,000		0	名簿補正・維持管理、他
H P 維持管理費	70,000		60,400	HP更新・維持管理費、他
慶 弔 費	450,000		430,158	卒業記念品、他
備 品 費	100,000		7,370	備品、他購入費
物 品 保 管 費	10,000		0	備品、他保管費
小 計	900,000	11,787	698,307	
2. 事業費				
会報誌制作費	700,000		693,775	2回/年
会報誌等印刷費	650,000		350,800	2回/年
会報誌通信費	850,000		741,785	1回/年
H C P 事業費	50,000		23,781	
記念事業費	200,000		69,858	「先輩と夢を語ろう」講師謝礼、他
年次活動支援事業費	500,000		1,150	
部活動支援事業費	300,000		0	
伊奈学園活動支援引当預金	3,000,000		3,000,000	30周年記念事業への寄付金積立
会報誌継続購読料引当預金	60,000		58,540	2011年度会報誌継続購読料収入引当支出
小 計	6,310,000	0	4,939,689	
3. 予備費	489,855	▲ 11,787		
当期支出合計(B)	7,699,855	0	5,637,996	
当期収支差額(A)-(B)	▲ 3,446,355	0	▲ 1,296,777	
前期繰越収支差額	3,446,355		3,446,355	
次期繰越収支差額	0		2,149,578	

上記の通り提出します。

2012年6月10日 埼玉県立伊奈学園総合高等学校

同窓会長

原 雅之



監査の結果適正なものと認めます。

2012年 月 日

監査役

後藤 昌弘



長野 啓江



2012年度埼玉県立伊奈学園総合高等学校 同窓会予算書(案)

自 平成23年 4月 1日
 (単位:円) 至 平成24年 3月31日

科 目	予算額	備 考
I 収入の部		
会費・入会金収入	4,005,000	卒業生入会金 801人×5000円
その他収入	150,000	寄付金等
会報誌継続購読料新規収入	60,000	6,000円×10人
当期収入合計(A)	4,215,000	
II 支出の部		
1.運営費		
会 議 費	180,000	会場費、飲食費、案内送付費、他 (定期総会1回、理事会2回、常任理事会2回、各種委員会費)
庶 務 費	100,000	決算書作成費、業務補佐謝礼、振込手数料他
名簿維持管理費	10,000	名簿補正・維持管理費、他
HP維持管理費	70,000	HP更新・維持管理費、他
慶 弔 費	450,000	卒業時記念品、他
備 品 費	30,000	備品、他購入費
物品保管費	10,000	備品、他保管費
小計	850,000	
2.事業費		
会報誌制作費	705,000	1回/年(秋号、反省会費等)・制作運営経費
会報誌等印刷費	891,000	1回/年(秋号26300部等)
会報誌通信費	1,540,000	1回/年(メール便約22000部、封入・宛名印字・発送準備)、他
いなじん交流会事業費	91,000	5月・9月・1月の年3回 会員のための交流会を開催
HCP事業費	50,000	会議費及びスタッフの参加費等
記念事業費	100,000	「先輩と夢を語ろう」講師謝礼、他
年次活動支援事業費	300,000	助成金5万円×26期=130万円×0.35、他
部活動支援事業費	200,000	全国大会出場部活への支援
伊奈学園活動支援引当預金	1,500,000	30周年記念事業への寄付積立て
会報誌継続購読引当預金	60,000	2012年度会報誌継続購読料収入引当支出
小計	5,437,000	
3.予備費	77,578	
当期支出合計(B)	6,364,578	
当期収支差額(A)-(B)	▲ 2,149,578	
前期繰越収支差額	2,149,578	
次期繰越収支差額	0	

平成24年度 第1回伊奈学園総合高校創立30周年記念事業実行委員会

日時：平成24年5月22日（火）
16:00～17:00

場所：大会議室

司会：谷 部 副校長

記録：劔 持 教 諭

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 報 告

(1) 経過報告

ア 平成23年度実行委員会報告

イ 平成24年度当初の流れについて

5 議 事

(1) 平成24年度創立30周年記念事業実行委員会組織編成について

(2) 平成24年度創立30周年記念事業実行委員会予算（案）について

6 各委員会の進捗状況について

(1) 式典等委員会

(2) 施設設備委員会

(3) 記念誌委員会

7 今後の予定について

5月31日（木） 全体職員会議報告

6月 2日（土） P・後総会報告

7月 2日（月） 第3回事務局会議

7月10日（火） 第2回総務会議

7月20日（金） 第2回実行委員会

※1 2学期の日程については、2学期の会議予定決定後検討し、後日連絡。

※2 各委員会打合せは、主任を中心に適宜開催。

8 閉 会

平成24年度 第1回創立30周年記念事業実行委員会名簿

役職名	氏名	役職名
顧問	芹川 眞澄	第8代校長
顧問	杉木 貴喜	第9代校長
顧問	葛山城 治	旧PTA会長
顧問		旧同窓会会長
委員長	金子 昭二	後援会会長
副委員長	足立 哲也	校長
副委員長	柴崎 政美	PTA代表 (※6/2以降)
副委員長	東 和寛	後援会代表 (※6/2以降)
副委員長	原 雅之	同窓会代表
副委員長	貝沼 道浩	事務局長
総務	松田 和子	PTA・後援会
総務	渡邊 眞也	PTA・後援会
総務	村松 猛	同窓会
総務	鈴木 啓修	式典等委員会担当 (第2ハウス長)
総務	佐々木 律	庶務委員会担当 (第3ハウス長)
総務	大久保 智久	記念誌委員会担当 (第4ハウス長)
総務	大谷 礼子	施設設備委員会担当 (第6ハウス長)
総務	尾花 美代子	庶務委員会主任
総務	宇畑 知樹	式典等委員会主任
総務	鈴木 勉	施設設備委員会主任
総務	増田 雪生	記念誌委員会主任
財務渉外委員会	田中 由夫	主任 (事務局次長)
財務渉外委員会	土田 祥靖	副主任 (施設課長)
財務渉外委員会	鈴田 千秋	委員 (担当課長)
事務局	谷部 貴一	局長 (副校長)
事務局	永井 一博	次長 (第5ハウス長)
事務局	野口 利之	主任
事務局	劔持 幹子	副主任
事務局	野原 博	局員 (学事課長)
監事		PTA・後援会代表
監事	後藤 昌弘	同窓会代表

Ⅲ 埼玉県立伊奈学園総合高等学校創立30周年記念事業実行委員会規約

埼玉県立伊奈学園総合高等学校創立30周年記念事業実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、埼玉県立伊奈学園総合高等学校創立30周年記念事業実行委員会と称する。

(目的)

第2条 本会は、平成25年度に創立30周年を迎えるに当たり、記念事業及び各種事業を円滑に実施するため、企画・準備・運営を行うことを目的とする。

(組織)

第3条 本会は、本校PTA・後援会、同窓会及び教職員をもって組織する。また、組織の編成については、別紙、創立30周年記念事業実行委員会組織図のとおりとする。

(事業)

第4条 本会の所掌事務は、その目的を達成するために、次のとおりとする。

- (1) 記念式典の挙行
- (2) 記念行事（在校生徒対象）の検討
- (3) 記念施設の検討
- (4) 記念誌の発行
- (5) その他実行委員会にて企画した事業

(役員)

第5条 本会を運営するために、次の役員を置く。

- (1) 実行委員会委員長・副委員長・監事・顧問
- (2) 実行委員会総務代表・副代表・委員
- (3) 財務・渉外委員会主任・副主任・委員
- (4) 事務局長・事務局次長・事務局員
- (5) 専門委員会主任・副主任・委員

その他、委員長並びに、代表が必要と認められた役職・役員を置くことができる。

(役員の仕事)

第6条 本会の役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 委員長は本会を代表する。
- (2) 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその任務を代理する。
- (3) 顧問は委員長の諮問に対し、意見を述べらる。
- (4) 監事は会計を監査する。
- (5) 実行委員会総務代表は会務を統括する。
- (6) 実行委員会総務副代表は代表に事故ある時はその任務を代理する。
- (7) 実行委員会総務委員は、各専門委員会の主任として会務にあたる。
- (8) 財務・渉外委員会主任は財務・渉外全般を統括する。
- (9) 財務・渉外委員会副主任は主任に事故ある時はその任務を代理する。

(機関)

第7条 本会の目的を達成するために、次の専門委員会を置く。

- (1) 庶務委員会
- (2) 式典等委員会（式典係・祝賀係・記念行事係）
- (3) 施設設備委員会
- (4) 記念誌委員会

(会議)

第8条 本会の会議は、実行委員会・実行委員会総務会議・財務渉外委員会会議及び各種専門委員会とす。

(1) 実行委員会は、必要に応じて委員長が招集し、次の事項を審議・決定する。

(7) 役員を選出

(4) 規約の改廃

(5) 予算および決算の承認

(6) その他重要な事項

(2) 実行委員会総務会議は、委員長の委嘱を受けて必要に応じて代表が招集し、代表の議長のもと、提案事項について審議・決定する。

(3) 財務・渉外委員会は、必要に応じて主任が招集し、主任の議長のもと、財務・渉外に関する提案事項について案を整理する。

(4) 各種専門委員会は、必要に応じて専門委員会の主任が招集し、専門委員会主任の議長のもと、企画提案事項について案を整理する。

(5) 全ての会議の決議事項は、出席者の過半数の賛同をもって決する。

(実行委員会事務局)

第9条 実行委員会事務局は埼玉県立伊奈学園総合高等学校内に置き、実行委員会における事業企画・日程全般における立案のための事務全般を行う。

(会計)

第10条 本会の経費は、後援会、同窓会とその他によるものとする。

第11条 本会の会計は、平成24年4月1日に始まり、事業完了後1ヶ月以内に終わる。

第12条 本会の会計は、単年度決算とし、会計監査を受ける。

(事業の終了)

第13条 本会は、その目的を達成したときに解散する。

附則 この規約は、平成24年4月1日から施行する。

IV 創立30周年記念事業全体計画

1 記念事業実施の趣旨

先導的教育を目指して創立した本校の30周年に当たり、その教育の成果と今後の課題を検証し、更なる発展を期する機会とする。

2 創立30周年記念事業実施方針

- (1) 時勢に見合った式典
- (2) 生徒に還元できる形で実施
- (3) 生徒全員参加

3 事業内容

- (1) 記念式典＋記念行事（生徒対象）

会場：大宮ソニックスティ

内容：①記念式典

- ②生徒によるアトラクション（部活動発表等）
- ③記念講演、記念シンポジウム等
- ④祝賀会（表彰・感謝状贈呈を含む）
- ⑤参加者・在校生への記念品
- ⑥生徒対象の講演、芸術館紹介等

(2) 記念施設等

30周年記念事業として、予算の範囲内で施設・修繕等の内容を決定する。

(3) 記念誌編集

- ①20周年以降の10年間の歩み
- ②30年間の記録（例えば、写真から見た30年・同窓会誌からの30年）
- ③統・伊奈学園の成果と課題

※記念誌の部数は、式典参加者分・有償頒布分を積算して決定する。

4 予算計画

予算総額：1,500万円（予定）
（内訳：後援会1,000万円、同窓会500万円）

5 実施時期

平成25年10月12日（土）

V 創立30周年記念事業実行委員会 各委員会の仕事内容

1 実行委員会総務

- ①各委員会間の連絡・調整
- ②案の決定

2 実行委員会事務局

- ①次年度の組織案作成
- ②全体の企画・立案
- ③予算案の検討
- ④配布物（次第、学校案内、記念品等）の検討、リストアップ
- ⑤次第等配付資料（式典、講師紹介、7トラクション、祝賀会、国歌・校歌歌詞）の検討

3 庶務委員会

- ①必要な印刷物のリストアップ（各委員会と連絡調整）
- ②案内等発送先の住所録の作成（各委員会と連絡調整）・案内状の発送
- ③旧職員名簿の作成
- ④3人卒業生保護者名簿の作成

4 式典等委員会

(1) 会場関係

- ①会場の検討
- ②会場見取り図（座席、控室、トイレ、駐車場、駐輪場等）の作成
- ③座席割図（種別、人数等）の作成
- ④入場・誘導経路等、人の流れ図の作成
- ⑤設営（看板・大道具・照明・音響等）、準備等の検討
- ⑥案内表示の作成

(2) 式典関係

- ①来賓者の確認
 - ②式典次第の作成、役割分担
 - ③ステージ上の来賓者座席表
 - ④式典関係の人の動き図
 - ⑤式典に必要な諸物品の調達・準備（紙袋、来賓用リボン、その他）
 - ⑥記念品の検討
- (3) アトラクション、生徒対象の講演・芸術鑑賞会関係
- ①企画・交渉・調整
 - ②アトラクションリハーサル計画
 - ③アトラクション紹介パンフレットの作成
 - ④生徒対象の講演・芸術鑑賞会の検討

- (4) 記念講演会、記念シンポジウム関係
 - ① 記念講演会講師選定・交渉・契約
 - ② 記念シンポジウム講師選定・交渉・契約
- (5) 祝賀会関係
 - ① 会場の検討、業者との折衝
 - ② 祝賀会次第、役割分担の作成
 - ③ 祝賀会出席者名簿の作成

5 施設・設備委員会

- ① 記念施設の検討

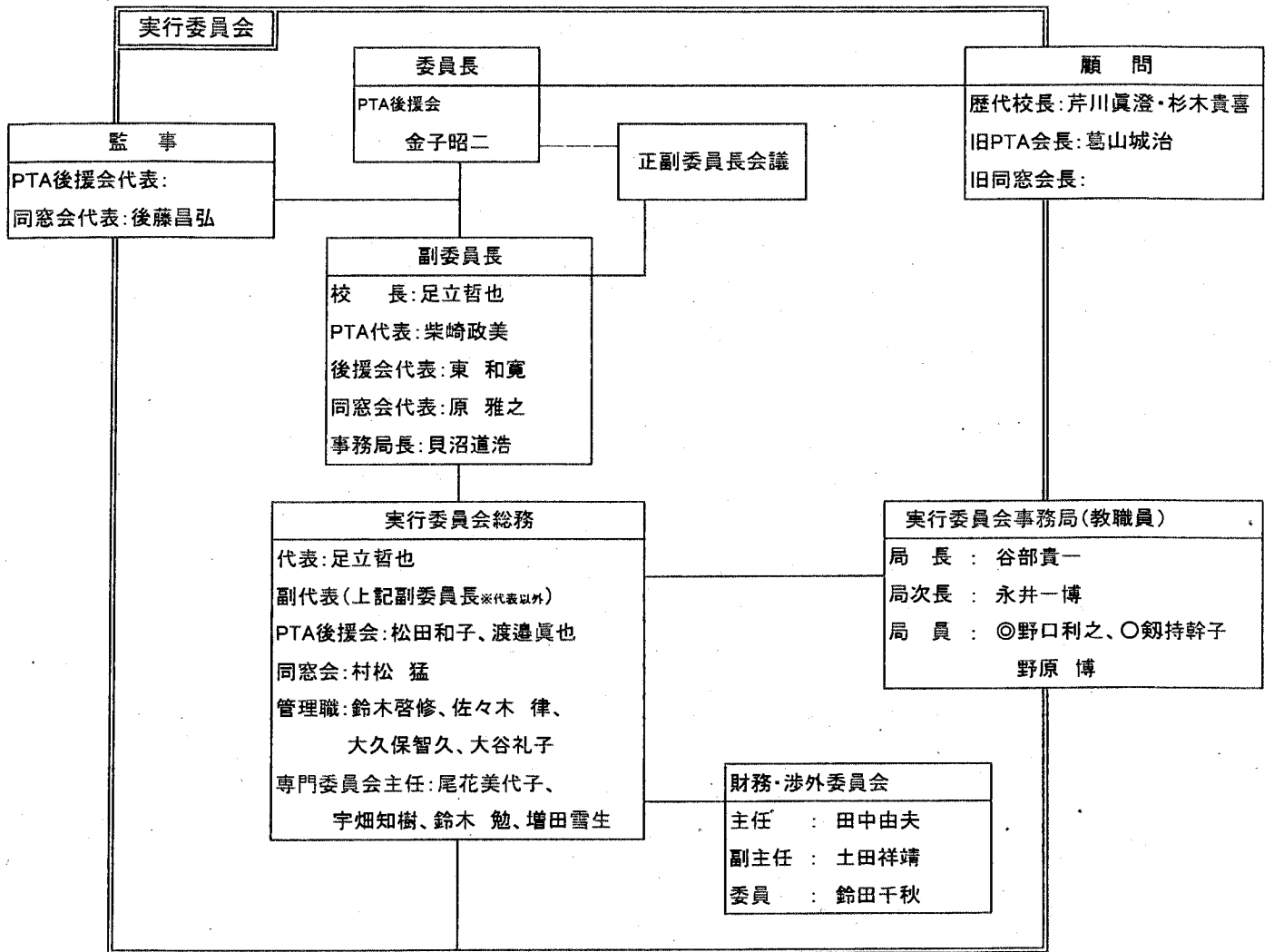
6 記念誌委員会

- (1) 記念誌関係
 - ① 構成の検討
 - ② 原稿依頼
 - ③ 資料収集
 - ④ 原稿用紙等の用意
 - ⑤ 割付用紙等の用意
- (2) 業者、発送関係
 - ① 印刷業者選定・契約
 - ② 印刷部数、配布計画、配布先名簿の作成

7 財務・渉外委員会

- (1) 財務関係
 - ① 予算執行、会計報告書の作成
- (2) 渉外関係
 - ① P T A、後援会、同窓会、外部団体等の連絡先・住所録の作成
 - ② 記念式典来賓者名簿の作成
 - ③ 案内状（案内状、会場案内図、交通時刻表）、臨席御礼状の作成

埼玉県立伊奈学園総合高等学校
創立30周年記念事業実行委員会組織図(平成24年度)



専 門 委 員 会						
	庶務委員会	式典等委員会			施設設備委員会	記念誌委員会
管理職	佐々木 律	鈴木啓修			大谷礼子	大久保 智久
主任	尾花美代子	宇畑知樹			鈴木 勉	増田 雪生
副主任		國弘雅也			石井 昇	伊藤 稔
教職員		式典係	記念行事係	祝賀会係	本田育子 島崎健人	新井真美、金木謙一 森内悠佳子、松本靖子 平 信爾、夏目昭宏 近藤晶子
		宇畑知樹 鈴木紀子 吉川摩耶	國弘雅也 藤井達也 石山ふみ子	八木裕隆 松本敦志 氏家広美		
PTA後援会	秋山節子 大関ゆかり	塚田洋子、渡邊明美、阿南知位子			秋場和雄	塚澤和憲、小野田真弓
同窓会	針谷信二	3名			石川 剛	早坂拓紀

平成24年度埼玉県立伊奈学園総合高等学校創立30周年記念事業予算書(案)

収入の部

単位(円)

項目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)額	摘要
繰入金	14,000,000	0	14,000,000	PTA・後援会900万円、同窓会500万円
雑収入	0	0	0	
繰越金	0	0	0	
合計	14,000,000	0	14,000,000	

支出の部

単位(円)

項目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)額	摘要
1 記念式典費	6,000,000	0	6,000,000	式典用経費
式典費	2,000,000	0	2,000,000	会場使用料ほか
記念行事費	3,000,000	0	3,000,000	講師謝礼ほか
祝賀会費	1,000,000	0	1,000,000	会場使用料、会費補助ほか
2 記念誌作成費	3,000,000	0	3,000,000	記念誌印刷代
3 記念施設費	4,000,000	0	4,000,000	記念施設費
4 雑費	0	0	0	
5 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
合計	14,000,000	0	14,000,000	

上記のとおり提出します。

平成24年5月22日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校
創立30周年記念事業実行委員会
委員長 金子昭二

年次理事活動補助金制度見直しについて・・・①

2年度に渡り、この制度を運用してきて、いくつか疑問に思う点があるので、見直してみるのもいいのではないかと感じます。

まず、事前にこの制度を運用する目的で、同窓会を開催するケースがほとんどない、という問題。

事態は逆で、ある年次の同窓会開催を聞きつけ、後から制度を適用するケースが多い。

従って、本来の目的とは違った運用になっている、というのが現状。

つまり、同窓会参加者への還元にはなっていない、ということです。

もちろん、主催者の方々が持ち出しもありながら企画運営したのだから、その分の補填に当てる、という考えもあると思います。しかし、それでは、少しこの制度の趣旨とは違ってくるような気がします。

また、これを知った参加者は、どう思うでしょうか？全員ではないにせよ、少なからず不快に思う人も中には出てくるのではないかと、危惧します。

ですから、必要経費分の補助に切り替える、などの対策が必要なのではないでしょうか？

次に、上記の件にも関連しますが、形骸化している制度適用の条件を見直してはいかがかと思えます。

例えば、年次理事になるとか、事前申請や、同窓会ホームページへの告知、募集範囲などです。適用の条件のハードルを下げてみてはいかがかなと感じます。

簡単ですが、以上が私が気になっている点です。

皆さんと前向きな議論ができましたら、幸いです。

2012年6月10日

伊奈学園同窓会常任理事

2期 渡辺剛

年次理事活動補助金制度見直しについて・・・②

常任理事会にて①の問題提起をしましたが、理事会にて議論することになりました。

私なりに、代替案を考えてみました。

A) 後からの補助金支給で、用途が不明になってしまうのであれば、参加者全員分を支給してはどうか？つまり、支給額上限の撤廃。

B) 同窓会活動の活性化が目的であれば、クラスや部活動なども集まりにも適用してはどうか？

C) 補助金制度そのものの撤廃

私としては、最後のC案つまり、制度そのものを撤廃することが一番いいのではないかと考えます。

理由は、年次理事への参加や同窓会活動活性化のために、お金を絡めての交換条件では、結果的に理事の継続的参加が望めない、という結論に達したからです。

理事会での議論、よろしくお願いいたします。

2012年7月8日

伊奈学園同窓会理事会にて

2期 渡辺剛

年次理事組織補助金の手引き

補助金制度

各年次、1年度あたり最大5万円まで支給します。支給対象、イベント前に執行部に対し指定の申請書にて申請し、承認を受けたイベントで10名以上の参加があった場合1人あたり最大1千円を支給します。

補助金利用の流れ

- ① 各年次理事代表1名、副代表2名を選出します。
- ② 登録用紙に必要事項を記入の上執行部年次理事担当に提出して下さい。
- ③ 執行部にて名簿と照らし合わせ承認します。
ここまでは初イベント前に行い以後は担当者が変わる場合にのみ行います。
- ④ イベントの企画、スタッフの募集開始
- ⑤ 理事会に出席していただき、おおよその年間計画（例：8月に飲み会30人程度など）を提出して下さい。
- ⑥ イベント参加者募集期間に年次理事活動運営費補助金等交付申請書兼請求書におおよその参加者、内容など必要な項目を記入のうえ提出して下さい。
- ⑦ 執行部にて確認、承認後会計より補助金を代表者口座に支出します、また提出の内容をHPに募集の告知として掲載します。
- ⑧ イベントの実施（参加者名簿、集合写真を用意して下さい）
- ⑨ 年次理事活動運営費補助金事業報告書を提出して下さい→HPに活動報告及び写真を掲載します。
- ⑩ イベント終了後の理事会に出席して活動報告をしてください。他の年次理事の承認を受けた後、年次理事活動運営費補助金等交付申請書兼請求書に署名捺印し、差金を清算します。
- ⑪ 補助金に残がある場合は同年度間で補助金を利用できます。たくさんイベントを企画して下さい。

尚理事会には必ず代表、副代表のどれか1名以上が出席するようお願いします。
連絡なく欠席の場合は次回理事会への出席があるまで補助金の利用を停止します。
申請書は別紙を参照して下さい。

登録申請書

年次理事活動運営費補助金等交付申請書兼請求書

年次理事活動運営費補助金事業報告書